

アパレル・靴 サプライチェーンに関する 「透明性の誓約」

「透明性の誓約」は、アパレル及び製靴企業の、自社の製造サプライチェーンにおけるより広範な透明性確保へのコミットメントです。

企業のサプライチェーンの透明性を高めることで、企業は市民社会とともに、現実には発生している又は将来起こりうる人権への悪影響を特定・評価し、これを回避することができるようになります。この取組みは、企業の人権デューデリジェンスを強化するための非常に重要なステップとなります。

この「透明性の誓約」に参加する企業は、最低限以下の工程を2017年12月31日までに行うことにコミットすることになります。

製造工場の公表

参加企業は、定期的に（例えば年に2回）、自社商品を製造する全ての工場の名前をリスト化し、公表します。このリストは、英語で以下の情報を含む必要があります。

1. すべての製造・加工場所のフルネーム¹
2. 住所
3. 親会社名²
4. 製品の種類³
5. 各場所における労働者数⁴

各企業は以上の情報を、スプレッドシートまたは他の検索可能なフォーマットで公表します。

*透明性の誓約連合のメンバーは、クリーン・クローズ・キャンペーン（Clean Clothes Campaign）、ヒューマン・ライツ・ウォッチ、繊維産業の国際労働組合インダストリアル（IndustriALL Global Union）、企業の説明責任に関する国際円卓会議（International Corporate Accountability Roundtable）、International Labor Rights Forum、国際労働組合総連合（International Trade Union Confederation）、Maquila Solidarity Network、UNIグローバル・ユニオン（UNI Global Union）、労働者権利連合（Worker Rights Consortium）。（2017年4月現在）

*本連合は、衣類のサプライチェーンにおいて産業全体における透明性の最低基準を設定する動きを支持し、「透明性の誓約」に参加してくださる、労働・人権組織、アパレル企業、投資家のみなさまからのご連絡をお待ちしております。お問い合わせは transparency@hrw.org または本連合の他メンバーまでお願い致します。

¹ 加工場所とは、プリント所、刺しゅう所、洗濯所などを含みます。

² 親会社とは、そのアパレル企業のサプライチェーンにおいて公開されている工場に対して過半数の所有権または管理権を有する会社です。本誓約では、裁断・縫製・トリムを行う工場の親会社を、最低限公開すべき情報として設定しています。もし販売会社が公開された工場の親会社である場合は、その販売会社がその工場を所有しているか、もしくは契約関係にあるかお示しください。

³ 製品の種類に関しては、アパレル・靴・家庭用繊維製品・アクセサリなどの大まかな区分けをお願いしています。

⁴ 労働者数に関しては、それぞれの工場の労働者数が以下のカテゴリーのどれに該当するかお示しください：1,000人以下、1,001人～5,000人、5,001人～10,000人、10,000人以上